

# 活動成果報告書

平成29年度（第21回）「チヨダ地域保健推進賞」

## 活動テーマ

現実的な在宅医療と介護の連携に向けた取り組み  
～顔の見える関係づくりからスムーズな多職種連携へ～

応募グループ名称及び氏名（グループの場合は代表者名）

磐田市役所 健康福祉部 健康増進課

代表者：佐伯 聖子

勤務先：磐田市役所

所 属：健康福祉部 健康増進課

所在地：〒438-0077

静岡県磐田市国府台57-7

TEL：0538-37-2011

FAX：0538-35-4586



## ◇活動方針

医療や介護関係者の顔の見える関係づくりを進め、お互いの理解を促すことで在宅医療と介護の現実的な連携につなげるための支援をします。

## ◇活動内容とその成果

- ・多職種ワクワク活動報告会を開催（平成27年度に開始）

市内の医療と介護の関係者に、自分たちの取り組みや日頃の仕事内容等を発表する場を設け、お互いに他分野の活動や仕事を知ることによって相互理解が深まり、良い取り組みが広がることを狙っています。

平成27年度には、活動報告会後に懇親会を開催。包括エリアを超えて同業種、他業種がつながり、実際の連携先や相談先となりました。

### ※報告会発表例

- ・訪問看護とは
- ・小規模多機能型居宅介護とは
- ・ケアメンプロジェクト（男性介護者の孤立を防ぐための取り組み）
- ・柔道整復師ってどんな人？
- ・訪問歯科診療の実際
- ・買い物支援の取り組み 等

平成29年度は2月22日に「地域のつながり創出・再現」をテーマに演題を募集中。5事例発表予定。

# 活動成果報告書

## ・「豊田みんなでつながり隊」活動支援（平成 28 年度から開始）

包括エリアにおける事業所連携の取組み「豊田みんなでつながり隊」での勉強会において、市の取組や国の動き等についての情報提供をし、活動について一緒に考えました。

会のテーマ（一部抜粋）

厚労省や県の資料から、介護・医療業界を取り巻く動向を共有しよう！

本人の選択と本人・家族の心構え

認知症になっても、住み続けられる地域づくりを目指して！

最期まで口で食べるためには？

「地域の困った」を地域・専門職の人と一緒に考えてみよう！

会のテーマに応じて、「多死社会」や「多職種連携の取組み」等について、地域の医療と介護従事者に情報提供しました。また、グループワークに参加することで、地域の従事者が日頃現場で感じている課題等を把握することができ、施策への反映に役立っています。

平成 29 年度は、「10 年後、20 年後、ここに住んで良かった！と思える地域を目指して」を年間通じたスローガンに、課題の整理を行うグループワークや事例検討を通じ、各自が課題を認識し自分たちにできることを考え、具体的な動きにつながりつつあります。2 か月に 1 度会を開催し、毎回 50～60 人が参加しています。

活動を通じて同業種、他業種の新たなつながりができ、実際の連携先や相談先となっています。包括エリアでの事業所連携「豊田みんなでつながり隊」での講師や参加者としても、新たなつながりから広がりを見せています。

## ・多職種グループワーク研修会を開催（平成 28 年度に開始）

医療と介護関係者が、同じ事例を検討することを通して、自職種に求められている役割の再確認と、他職種の専門性や役割の理解をすることによって、多職種連携の必要性を理解すると同時に実際の連携につなげることを目的として開催しています。年 2 回開催。

※平成 28 年度：誤嚥性肺炎を繰り返す高齢者の事例

平成 29 年度：心不全憎悪を繰り返す事例

平成 29 年度の 2 回目は、事例検討ではなく「磐田市で幸せな最期を迎えるために 日頃感じている、磐田市の課題」をテーマにグループワークを行いました。約 100 名の医療・介護・障害関係の専門職が参加しました。

たくさんの課題が出されました。そのうち多く挙げた課題について絞り、もう 1 度具体的な課題や改善策について話し合いをしていく予定です。（平成 30 年度）

# 活動成果報告書

## ・多職種連携のための事業所間交流研修を開催（平成 26 年度に開始）

市内の医療や介護事業所で半日から 1 日の単位で見学実習を行い、顔の見える関係づくりを進めました。平成 26 年度から平成 28 年度で延 89 事業所が受け入れ、延 177 人が研修参加しています。

事業所間交流研修がきっかけとなり、研修以外でも自主的に他の業種や同業種の他事業所へ連絡し、相談をしたり職員を研修に出したりしています。

病院と訪問看護ステーションの看護管理者のつながる会が発足し、会の中でも交流研修事業を始めて、お互いの理解を深め、更なる連携を推進しています。

## ・磐田市の医療・介護関係者の事例検討会（平成 29 年度に開始）

実際の事例を、情報共有のタイミングや情報が足りていたかといったことに焦点を当てて検討し、連携のためのより具体的な現状や課題を明らかにし、地域のルール作りが必要であれば整えていくことを目指しています。

平成 29 年度は 3 回の実施計画を立て、2 回終了しました。試行錯誤しながら進めていますが、病棟の看護師から退院支援や退院後に関わる関係者への情報伝達についての気づきが多く聞かれています。

## 全体を通しての成果

事業を通して、顔の見える関係づくりが進み、挙げられる課題がより具体的なものとなってきています。各職種の核となる人物がわかり、連携しやすくなりました。また、地域の課題等を一緒に考えてもらえる現場の専門職の輪が広がっています。

## ◇今後の計画

・市内の多職種連携が広がり、ケアのレベルが上がり、住民の療養環境が良くなることを目指して、市全域と、地域包括支援センターと連携した包括エリアの両方を対象とした、多職種連携の取組みに対する支援を行います。

・事業を始める、進める時には地域の専門職に相談をしながら企画、運営をしています。現場のニーズや状況を常に意識しながら計画しています。

・今後の計画として、引き続き活動報告会や多職種グループワーク研修会を開催していくことと、「豊田みんなでつながり隊」のような包括エリア毎の活動を市内他地域にも広げ、必要な時に支援ができるようにしていきます。